

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和3年度 高松市美術品等収集審査会
開催日時	令和4年3月1日(月) 午後1時30分～午後3時
開催場所	高松市美術館 1階 講堂
議題	(1) 収集対象美術品の審議について (2) 答申について
公開の区分	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開
上記理由	審議内容に契約相手方の個人情報が含まれるため、情報公開条例第7条第1号に該当、及び公立美術館の購入価格の公表は市場の取引価格に影響を及ぼすため)
出席委員	大場委員、北岡委員、小西委員、千葉委員、原委員、日野委員、森委員
美術専門家	河本信治氏、潮江宏三氏
傍聴者	なし
担当課及び 連絡先	美術館美術課 823-1711

審議結果

(1) 収集対象美術品の審議について

別紙「収集対象リスト」に記載の収集候補作品10点の選考及び評価について審議した結果、購入、寄贈、寄託候補作品の全てについて収集は可であると承認した。

● 審査委員 (意見陳述)

・ 委員

今回選出されている作家は多くが平成時代の若手で、昭和とは違う新しい世代の表現だと感じた。映像作品を資料としてではなく、作品として収集することに意義がある。加藤作品には彼の他の作品と同様に、伝えようとしていることがよく表れた作品である。

・ 委員

作家のセレクトが素晴らしい。見えないものに対する怖さを人々が感じている時代において、その怖さに近寄りすぎず、離れすぎない距離をどの作家も探しており、切実な作風を模索しているように思ったし、それは見る者を励ましてくれる。

・ 委員

審議結果

作品の寿命の問題があると思うが、最新のテクノロジーを用いた作品も増えていくとよいと思う。

・委員

若い作家の作品からは元気をもらえる。購入金額が以前に比べてずいぶん少なくなっていると感じている。今回選出されたような作家は今後、作品価格も高くなるだろうが、そうなった時に作品を購入できなくなっていくのではと思う。

・委員

谷澤作品が特に印象的だった。今まであまり見たことのなかったタイプの作品だと思う。他の作品も、それぞれの作家が追求しているものの先に力強いものを感じた。他の委員も述べられたが、以前と比べて収集作品の数や金額が少なくなっている。そのなかでも、学芸員が作家を尊重しながら、作品をよく選んだうえで購入されていると感じる。

●美術専門家（意見陳述）

・美術専門家

着眼点の鋭い展覧会を企画されている。ユアサ作品を購入されるのはすごくいいと思う。歴史を参照しながら、それを上書きしていくような手法が文学だけでなく、美術のなかでもでてきたことを表している。この作品が美術館にあるのはすごいことだと思う。作品からテキストが書かれた谷澤作品は、疑似テキストを書いてみるなど、美術教育にも生かすことができるだろう。

・美術専門家

日頃の展示活動に関連しながら良いセレクションをされている。谷澤作品は藤野氏とのコラボということで、テキストとしても素晴らしいし、展示でも様々な見せ方ができるだろう。ユアサ作品は彼の作品のなかで最も良い作品を選ばれている。その作品が美術館に残るというのは、作家にとっても素晴らしい出会いとなったことだろう。松井作品も創意工夫にとんだ素晴らしい作品。加藤作品はブルーレイでの再生であるが、今後も継続して展示できる手段を講じているとのことで、そのような工夫を今後もされていけばよいと思う。いずれも、この美術館の日頃の活動と学芸員の着眼点が生かされた素晴らしいセレクションになっている。

(2) 答申について

購入、寄贈、寄託候補作品の全てについて、収集は可であると、3月1日付で市長に答申することを決定した。